呼成26年度

平成26年度一般会計および各特別会計の決算認 定について、9月に行われた町議会定例会におい て提案しましたので、その概要についてお知らせ します。また、6ページでは、平成26年度決算に 基づく健全化判断比率等について公表します。

一般会計の決算概要

決算は、町に入ってきたお金(歳入)と、町が 使ったお金(歳出)を分かりやすくまとめたもの です。まちづくりを進めるうえで、どのような事 業にどれくらいのお金が使われたのか、決算を見 ると明らかになります。

一般会計の決算状況は、円グラフに示すとおり です。歳入が45億1,868万円(前年度対比10.1% 減)、歳出が43億7,305万円(前年度対比5.5%減) で、差引額は1億4.563万円となりました。

歳入は、その財源の性格から、「自主財源」と

置戸町の自主財源は歳入全体の20.6%、依存財源 は79.4%の割合となっており、私たちの町の最も 大きな財源は依存財源である地方交付税で、歳入 全体の55.7%となっています。

一方、歳出総額は43億7,305万円で、その内訳 を見てみると、教育費が8億2.657万円と最も多く、 民生費が7億7,810万円、給与費6億2,660万円と 続いています。

健全な財政運営には、歳入と歳出の均衡を維持 しながら、経済情勢や町民の皆さんの要望に対応 できるだけの弾力性が必要です。置戸町を取り巻 く台所事業は年々厳しさを増していますが、今後 も限りある財源を有効活用しながら、町民の皆さ んにとって満足のいくサービスを提供できるよう、 効果的な財政運営に努めていきます。

町税 2億8,467万円(6.3%) 分担金及び負担金 3,902万円(0.9%) 「依存財源」に分けられます。円グラフで見ると、 使用料及び手数料 8,235万円(1.8%) 町税の内訳 ()内は構成比 財産収入 5,156万円(1.1%) 肝債 4億1,569万円(9.2%) ■町民税 1億2,371万円(43.5%) 寄附金 547万円(0.1%) ■ 固定資産税 1億3,261万円(46.6%) 繰入金 502万円(0.1%) ■軽自動車税 683万円(2.4%) 繰越金 ■町たばこ税 1,781万円(6.2%) 3億1,646万円(7.0%) ■入湯税 371万円(1.3%) 自主財源 1億4,860万円(3.3%) 道支出金 1億7,020万円(3.8%) 20.6 国庫支出金 3億6,350万円(8.1%) 歳入 各種交付金 45億 5,185万円(1.1%) 存 一般会計の歳入の推移(H23~26) 1,868万円 地方譲与税 6,943万円(1.5%) 79.4 79.4 50億 2,413万円 41億 45億 5,707万円 1,868万円 40倍 地方交付税 1,467万円 25億1,486万円(55.7%)

23年度 24年度 25年度

26年度